



新年、あけましておめでとうございます

2024年 元旦

童謡「里の秋」を歌いながら思うこと

— 新春寸感

新年、明けましておめでとうございます。2024年の朝は穏やかに明けました。皆さまと共に喜びたいと思います。清々しい元旦、餌を求め、わが家の庭に舞い降りる初雀を眺めながら、昨年ウィズ広島交流ルームで楽しんだクリスマス交流会のとき、共に歌った「里の秋」という童謡のことを想い出しています。少年の頃歌った「里の秋」の音調は静かに澄みきり、小さな田舎の風景をなつかしく思い浮かべていました。が、このたび「名もなき男声合唱団」の皆さんや利用者、県更生保護女性連盟、広島保護観察所の皆さんと一緒に歌いながら、少年の頃を思い起こしていました。

日本童謡辞典によると、「里の秋」は現在のNHKラジオが「外地引き揚げ同胞激励の午後」のテーマ曲だそうです。NHKラジオが童謡作曲家海沼実に依頼したものだといいます。海沼実は戦時下につくられた作詩家斎藤信夫作「星月夜」を改題し「里の秋」としたのです。戦後間もない昭和20(1945)年12月24日のことです。遥か78年前、歌詞の色調は静かに暗く、悲しみに満ちています。歌詞

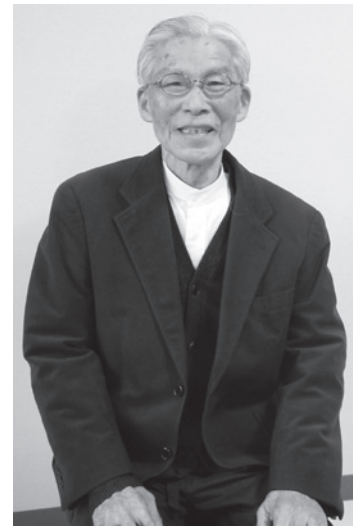
は、「しずかなしずかな里の秋…」と歌いはじめますが、それは母さんとただ二人だけとつづき、二連は「…なきなきよがも（鳴き鳴き夜鴨）の渡る夜は ああとうさんのあのえがおをおもいだす」と歌います。「鳴き」は亡き、哭き、泣き、無きに通底します。そして三連、「さよならさよなら椰子の島（ミンダナオ島か、ジャワ島か、また南方の島々）にお舟にゆられてかえられる ああとうさんよ ご無事と今夜もかあさんと祈ります」と父さんの面影をしのび、歌は終わります。

洋の東西を問わず「便りのないのは無事のあかし」ということわざがあります。戦時下、一枚の赤紙で見送った父、兄の行方をおもう母、弟の思い、庶民には祈るしかなかったのです。暗い悲しい、戻りたくない時代の家庭風景でした。

あれから80年、時代は振り子のように振りつづけ、未来は私たち一人ひとりのこころのなかにあります。孤独の時代、人は、更生保護施設を退所した人、在所している人だけでなく、人はみな家から出ることもなく退屈です。そしてあてもなく

山田 勘 一

更生保護法人ウィズ広島 理事長



街に出てはけ口をもとめます。その行先は餅つき交流会であり、お寺のお茶カフェであり、またウィズ広島のカフェです。その現象は、病いではなく社会現象です。近年、「ふつうの相談」など浅層カウンセリングなど治療的に接近する選択肢は確実に増えました。でも社会的・文化的な現象は治療の対象にならないのです。それと交差するように社会にはケアの思想が広がり、人々はこれに回答し、しつづける時代に生きています。振り子のように、複数のコミュニティを自由に行き来し、自由に集まり、自由に対話し、人と人がつながる時代です。今年もよろしくご支援をお願いいたします。

2024.1.1

with WH+

ライオンズクラブ国際協会 336-C 地区 3R2Z

広島紅葉ライオンズクラブ

会長 田中 浩二さん



施設玄関先に次々に運ばれてくる、立派な家電、そして日用品の数々。「わあ、こんなにたくさん」、「これは助かるね」と思わず感謝の言葉が出る瞬間。

年に二回、心づくしの品々を携えて来所される『広島紅葉ライオンズクラブ』の会員の皆さんとの繋がりは、今年で26年にもなります。

広島市中区立町に事務所を構える同クラブが国際協会の一員となった15周年の記念事業では、ウイズ広島への建設資金も助成。引き継がれる温かい支援について、会長の田中浩二さんにお話を伺いました。

ーウイズ広島へ関わることになったきっかけは？

1997(平成26)年、当クラブ設立時のメンバーで、当時ウイズ広島の理事長を務めていた浅尾宰正氏が、同年10月の例会に当時の山田施設長(現理事長)を招き「更生保護施設とボランティア」と題し、ゲストスピーチを依頼したことが始まり。その年の12月例会には31名の会員から預かった85点の品々を8名の会員で届けたのが

最初の活動となり、今日に至るまで、ウイズ広島に年二回の活動を行っています。

ー最近は新型コロナウイルスの流行など、活動に困難な時期もあったと思います。

クラブを休会することは簡単です。しかし「コロナがあっても、アクティビティ(活動、行動)は出来る」という信念がありました。例会開催時は密を避けて、オンラインに変更。「継続していく」という意識を持ち続けてやってきました。

ーウイズ広島には、どのような思いで関わられているのでしょうか。

社会奉仕活動として関わらせてもらっています。更生保護施設は、必要な場所。

当クラブがある限り、この活動を続けることを目標としています。



広島紅葉ライオンズ会員の皆さんと、贈られた品物

コーディネート始めました!

更生保護ひろしまメッシュワーク協議会

つなげる支援室 室長コーディネーター 多田野 清

この度、本年9月から更生保護地域連携拠点事業のコーディネーターを務めさせていただくことになった多田野です。

私は、本年3月末まで通算40年にわたり保護観察所等で勤務してきましたが、これまでは保護観察等が終了すれば保護観察官として刑務所出所者等への関わりは終わることになり、その後の支援等を行うような制度にはなっていませんでした。

一方、刑法犯認知件数が年々減少する中で、検挙者中に占める再犯者の割合がほぼ半数に及ぶ状況から社会における再犯防止の重要性が高まり、平成28年12月いわゆる再犯防止推進法が施行され、県や市町で再犯防止計画が策定されるようになりました。同計画の中に再犯防止のための「息の長い支援」が必要と記されていることが多いのですが、そのための具体的な制度はなく、どのように「息の長い支援」をしていくのか、ずっと疑問に思っていました。その疑問の答えとなるのが、これから始める地域連携拠点事業であろうと思っています。

この拠点事業というのは、本ニュースレター8月号でも山田理事長が触れておられましたが、刑務所出所者等のうち保護観察が終了してもなお、地域における継続的な支援を必要としている人に対し、その地域の関係機関・団体等で構成されるネットワークにつなげることで、その地域生活の安定を図り、再犯を防止しようとするものです。

もとよりウイズ広島では、従来から施設を退所後もなお支援を希望する元利用者に対しフォローアップ事業や訪問支援事業という形で支援が行われていましたが、拠点事業は、ウイズ広島の利用者に限らず、広く県内に住む保護観察を終了した人のうち引き続き支援を希望する人を対象として、福祉、就労、住居支援等の支援が必要な場合に、それぞれの人を相応しい地域ネットワークの支援につなげていこうとするものです。

本事業は始まったばかりでまだまだ知名度が低く、基盤となる地域ネットワークの構築も進んでいない状況ですが、焦ることなく、まずお知り合いになった人から次の知り合いの人へと、少しずつですが支援の輪を広げていくことから始めたいと思っています。

これからの拠点事業に対し、何とぞご理解とご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



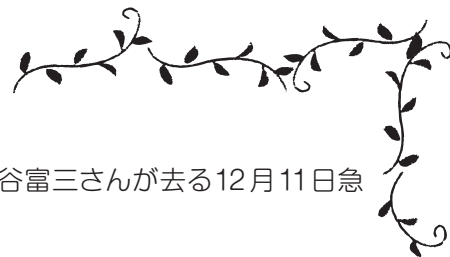
あわび

メンガ「ノンフィクション・ウイズ」は、お休みします



追悼

迫谷富三さんのことども



ウイズ広島賛助会名誉会長迫谷富三さんが去る12月11日急逝されました。世寿82歳。

迫谷富三さんと私の出会いは遥か29年余りに遡ります。当時、賛助会は1979(昭和54)年11月6日、同総会で会長に推された秦野楠雄さんがわずか6か月後に死去され、15年近く空白でした。それを当時の浅尾宰正理事長に話したところ、さっそく迫谷富三さんと3人で新天地近くの料亭新月で会うことになりました。場所の設定はきっと迫谷富三さんだったのでしよう。

迫谷富三さん、あのときあなたは、欣然とウイズ広島の「理事より賛助会のほうを引き受けよう」と快諾されました。以来「会長」「山田さん」と呼び合い、二人三脚が始まりました。こうして30年が経ち、この数年体調を崩し、入退院を繰り返し、会長を辞任したいという申し出を受けたのが、去年の春のことでした。

その間、さいごのさいごまであなたは、会員の増強に気を配られました。後は、次の世代に委ね、こころ安らかにお眠りください。

(ウイズ広島理事長 山田 勘一)

迫谷 富三 追悼記

ウイズ広島賛助会名誉会長 迫谷富三さんが去る12月11日、急逝されました。行年82歳でした。

迫谷富三さんと私の出会いは遥か29年余りに遡ります。当時、博光賛助会は1979(昭和56)年11月6日に同総会で会長に推された財団法人博光寮理事秦野楠雄さんがわずか6か月後に死去され、15年近く空白でした。それを当時の浅尾宰正理事長に話し、迫谷富三さんと3人で新天地近くの料亭新月で会うことにしました。迫谷富三さんそのときあなたは欣然と笑顔でうなずかれました。うれしかったですね。初めてあった私をそんな気分にさせるのがあなたの人柄です。その夜の酒杯は進みました。あの日からまもなく30年がきます。懐かしい思い出です。

こうしてあなたと私の二人三脚が始まりました。

賛助総会前になると打ち合わせのためによくあなたの会社にお伺いしました。当時韓国に行かれていたのでしょうか、応接室の棚にある朝鮮青磁の壺を話題に打ち合わせは順調にすすみました。そして病いのため会長を辞任したいという申し出を受けるまで会員の増強に気配りされました。そして今のウイズ広島賛助会があるのです。

語れば山々思い出と感謝の気持ちは湧き立ちますが、これをもって追悼のことばといたします。ありがとうございました。

(山田 勘一)

寄付で振り返るウィズ広島

2023年(令和5年)8月1日から2023年(令和5年)12月31日までに、皆様からお預かりしたご寄付は次のとおりです(敬称略)

8月

島山昭雄:10,000円、西億都:3,000円、朝倉祐子:10,000円、社会福祉法人正仁会あいあいねっと:そばつゆ1.5ml×1、サラダ油900ml×1、ガーリックペーストブレッド100g×2、他19点、佐藤文倫:葛饅頭×60、匿名:掛け布団×1、敷布団×1、敷シーツ×1、布団収納袋×1、他4点、(株)ハローズ海田市駅前店:白桃×1、リンゴ×2、人参×8、リンゴ×3、他2点、平口さとみ:梨×8、プチトマト×643g(写真①)、土井壽美子:きんつば×102、枝豆餅×102、リンゴのカスタードケーキ×102、バームクーヘン×52、更生保護施設等支援協議会 藤本晴男:米×5kg、無洗米×5kg、醤油1L×1、紳/ズボン×3、他32点、黒木至美:米×20kg、南地区更生保護女性会:更女給食材料(写真②)、社会福祉法人正仁会あいあいねっと:焼き鳥×24、丸ナス×25、半田麺120g×24人前、かっぱえびせん×109、他17点、匿名:スリッパ×1、半袖シャツ×3、長袖シャツ×1、スカート×1、(株)フレスタ吉島店:黒まめらん42g×1、豆腐チゲの素180g×1、鶏香草焼き20g×1、ライムソーダ250ml

×2、他9点、(株)フレスタ舟入店:鯖チップス60g×2、チョコ97g×4、たくあんの素80g×4、白菜漬の素70g×5、他10点、広島県就労支援事業者機構 木本富男:半袖下着×15、夏ズボン下着×6、長袖下着×6、冬ズボン下着×2、他3点、(株)ハローズ海田市駅前店:大根1/2×1、トマト×3、バナナ×12、キウイ×3、鉄井京子:パジャマ上下×1、半袖×4、セーター×4、ズボン×3、他4点、木本正志:ナタデココ杏仁豆腐バー×24

9月

社会福祉法人正仁会あいあいねっと:アラハタジャム250g×5、ディナーロール×36、イングリッシュマフィン×12、焼き鯖押し寿司150g×7、他28点、宇恵一枝:100,000円、西億都:3,000円、梶江絹江:玄米30kg×2、匿名:紳/スラックス×4、島山昭雄:10,000円、狩谷あゆみ:20,000円、大竹地区更生保護女性会:更女給食材料(写真③)、大竹地区更生保護女性会:20,000円、佐藤文倫:井村屋おはぎ12個入り×5、井村屋さなこおはぎ12個入り×3、平口さとみ:梨×10、ぶどうふあふあ180g×

1、ぶるりゆずはちみつ185g×1、匿名:テレビ台×1、(株)ハローズ海田市駅前店:ナス×4、きゅうり×9、すだち×8、にんにく×4、他10点、沖村和夫:シャワーヘッド×1、匿名:作務衣×2、ジャンパー×3、トレーナー×2、紳/Tシャツ×5、他6点、更生保護施設等支援協議会 藤本晴男:こくまるカレー140g×8、ソイデ・ショコラ142g×20、お供菓子55g×31、書籍×13冊、他20点、社会福祉法人正仁会あいあいねっと:野菜生活200ml×144、ディナーロールパン×36、ソーセージパン×12、しめ鯖×10、他17点(写真④)、今治地区保護司会第5分区:10,000円、(株)フレスタ舟入店:LED小丸電球×3、根昆布入りとろろ20g×1、アンパンマンカレー100g×1、モルカープチキャン3個入り×2、他5点、(株)フレスタ吉島店:みかん缶312g×2、スパゲッティ700g×1、小麦粉1kg×1、米麴750g×1、他17点、西地区更生保護女性会:更女給食材料(写真⑤)、広島県更生保護女性連盟:200,000円、(株)ハローズ海田市駅前店:人参×2、ブロッコリー×2、リンゴ×3、トマト×2、他7点、東地区更生保護女性会:ポカリ



平口さとみ様よりの果物



南地区更生保護女性会の皆さん



大竹地区更生保護女性会の皆さん



社会福祉法人 正仁会あいあいねっと様よりの食料品

スウェット24本入り×2、廿日市地区更生保護女性会大野支部：ピーマン×42

10月

宇佐見司：玉萬寿醤油1L×2、特級うす塩醤油1L×2、広島県民文化センター・鯉城会館：ベッドマット×36、西億都：3,000円、畠山昭雄：10,000円、邑智地区保護司会：10,000円、米×3.2kg、そうめん×18、スティックシュガー×20、即席味噌汁×9、他16点、佐藤文倫：つなぎ×2、長袖シャツ×2、ズボン×2、桃太郎栗蒸し羊羹3本入り×4、他2点、村上正人：キャノンプリンター×1、社会福祉法人正仁会あいあいねっと：しめじ×1、米×10kg、カットサツマイモ×2.6kg、バナナ×16本、他28点、西地区第3分会 神村正治：スラックス×2、ジャケット×1、スリーピース×9、ツーピース×22、他1点、(株)ハローズ海田市駅前店：オレンジ×5、春菊×4、リンゴ×5、大葉10枚×2、他3点、今治地区更生保護女性会：20,000円、更生保護施設等支援協議会 藤本晴男：たかはたファームドレッシング×120ml×6、パンザイ山椒80g×3、パスタ500g×1、他44点、(株)フレスタ舟入店：早ゆでパスタ500g×2、ごろグラ360g×2、ソルティライチ300g×1、他9点、(株)フレスタ吉島店：カラムーチョ×55g、チョコレート×225g、ソルティクラッカー×54、他10点、山本隆照：ジャケット×2、スカート×3、ズボン×6、長袖シャツ×1、他4

点、土井壽美子：黒糖饅頭×10、大名きんつば×10、笑福どら焼き×5、枝豆餅×10、安佐南地区更生保護女性会：更女給食材料(写真⑥)、社会福祉法人正仁会あいあいねっと：米×10kg、ごはん180g×10、イングリッシュマフィン×12、バナナ×14、他22点、(株)ハローズ海田市駅前店：ネギ×6、じゃがいも×5、人参×3、サツマイモ×5、他14点、渡辺君子：300円、住本恵子：タオル×8、スカート×3、婦/長袖シャツ×2、婦/セーター×3、他13点、匿名：下着×2、靴下×8、半袖シャツ×4、作業ズボン×3、他2点、織建末子：線香70g×4、眼鏡×14、ハンカチ×1、ポーチ×3、平口さとみ：カフェラトリ7本入り×3、カフェラトリ6本入り×3、ルマンド11本入り×2、他2点、大野宣江：米30kg、間所了：ガラスコップ×21、コーヒーカップ×6、ズボン×3、シャツ×8、他6点

11月

匿名：スプーン×23、コップ×23、ハンガー×60、3段BOX×1、他43点、社会福祉法人正仁会あいあいねっと：コンデンスミルク480g×6、男爵芋×24、水×20本、かつえびせん×90、他35点、西億都：3,000円、畠山昭雄：10,000円、西地区更生保護女性会：210,000円、安佐南地区更生保護女性会：150,000円、安佐北地区更生保護女性会：80,000円、東地区更生保護女性会：100,000円、広島安芸地区更生保

護女性会：100,000円、広島佐伯地区更生保護女性会：100,000円、中地区更生保護女性会：100,000円、南地区更生保護女性会：120,000円、匿名：男性用ボロシャツ、サイクルショップカナガキ横川本店：自転車×1(写真⑦)、東広島河内支部更生保護女性会：玄米×50kg、ティッシュ5個入×12、早島地区更生保護女性会：10,000円、安佐北地区更生保護女性会：更女給食材料(写真⑧)、安佐北地区更生保護女性会：3,918円、(株)ハローズ海田市駅前店：ピオーネ×1、オクラ×3、きゅうり×10、バナナ×4、他11点、更生保護施設等支援協議会 藤本晴男：讃岐うどん半生300g×10、こんがりチーズ70g×2、鏡×52、グランデリ鶏肉30g×6、他42点、社会福祉法人正仁会あいあいねっと：じゃがいも×14、プリッとえびフライ10尾×3、うなぎ炭火蒲焼200g×6、そのまま使えるパラパラミンチ200g×2、他38点、更生保護施設等支援協議会 青山範子：ブロッコリー2.27kg×2、フレンチフライポテト2kg、佐藤文倫：山柿庵×24、さつまいも甘納豆×5、廿日市地区更生保護女性会：婦/肌着×8、紳/肌着上M×11、紳/肌着下M×6、紳/シャツ×9、他3点(写真⑨)、四国中央地区保護司会：トイレットペーパーシングル8ロール80M×2、トイレットペーパーダブル(150 5P)×2、広島県社会福祉士会：傘×8、セーター×14、長袖シャツ×5、古米玄米×80kg、他21点、(株)フレ



西地区更生保護女性会の皆さん



安佐南地区更生保護女性会の皆さん



サイクルショップカナガキ横川本店様よりの自転車



安佐北地区更生保護女性会の皆さん

スタ舟入店：米麹味噌750g×3、ファンタ410ml×22、本格サラミ60g×6、五目釜飯160g×12、他12点、**㈱フレスタ吉島店**：辛麺35g×9、毎日一杯の青汁100g×2、サッポロ一番みそラーメン101g×3、エメラルドマウンテン185g×8、他21点、**土井壽美子**：千鳥饅頭×10、栗饅頭×10、和生菓子×10、人形焼×5個、**匿名**：ズボン×2、カレンダー×2、ブロッコリースプラウトの種×1、春菊の種×1、他2点、**東地区更生保護女性会**：クリスマスリース×1、**平口さとみ**：とらや羊羹330g×2、**広島県更生保護女性連盟**：ガラスコップ×30、大皿×5、ポット×1、ふきん×25、**東広島福富支部更生保護女性会**：さつまいも×8、みかん×6、ピーマン×13、玉ねぎ×15、他11点、**広島県更生保護女性連盟**：白米×90kg、**中地区更生保護女性会 田中八重子**：ハンドタオル×8、**㈱ハローズ海田市駅前店**：牛乳1ℓ×5、飲むヨーグルトいちご1ℓ×8、バナナ×18、他11点、**匿名**：紳/トレーナー×2、婦/Tシャツ×4、婦/シャツ×3、婦/ポロシャツ×2、他8点、**更生保護施設等支援協議会 青山範子**：レトルトカレー×7、玄米×20kg、柿×10、京唐辛子5g×15、他181点、**信永節子**：3,000円、肌着×14、ショーツ×13、パンスト×12、靴下×37、他8点、**浄土真宗本願寺派圓妙寺**：みかん10kg×2 (写真⑩)

12月

社会福祉法人正仁会あいあいねっと：さやえんどう×111、はたらくひとの天然水500ml×48、パックご飯180g×40、レトルトカレー180g×30、他30点、**福山地区更生保護女性会 藤井栄子**：米×30kg、**匿名**：紳/セーター×6、紳/ベスト×1、**匿名**：ポット×1、**藤島秀孝**：300,000円、**匿名**：ズボン×8、半袖シャツ×16、長袖シャツ×13、セーター×11、他7点、**西億都**：3,000円、**嘉屋進**：20,000円、**信永節子**：タオル×20、ハンドタオル×17、ふきん×11、ランチョンマット×7、他15点、**広島紅葉ライオンズクラブ**：カイロ×20、ウェルチ160ml×24、タオル×72、カレンダー×19、他35点、**更生保護施設等支援協議会 青山範子**：雪印バター発酵食塩不使用×20kg、**㈱ハローズ海田市駅前店**：森永のおいしい低脂肪牛乳1ℓ×3、カフェオレ180ml×14、乳酸菌飲65ml×8、ピザの生地×7、他16点、**間所了**：ジャケット×10、長袖シャツ×4、スカート×20、紳/ランニングシャツ×6、他11点、**匿名**：靴下×15、ハンカチ×25、シャツ×56、ワンピース×17、着物×10、他9点、**更生保護法人ウィズ広島賛助会**：1,900,000円、**社会福祉法人正仁会あいあいねっと**：ブルーベリーベグル×12、ディナーロール×36、ミルクチョコレート50g×25、ブルーベリージャム104g×14、他19点、**佐藤文倫**：

デコレーション和菓子×3 (写真⑪)、**井町重遠**：みかん×10kg、**土井壽美子**：ひろしまレモンの花×5、小豆餡蜜饅頭×9、白餡蜜まんじゅう×6、他3点、**匿名**：紳/スーツ上下×1、紳/ジャケット×1、婦/ジャケット×1、化粧ボックス×1、他1点、**更生保護施設等支援協議会 藤本晴男**：カルシウムプラスイオン飲料200ml×24、マヨネーズ310g×15、白がゆ41g×100、十六穀30g×9、他30点、**西地区保護司会**：シーフードカップヌードル×20、日清どん兵衛95g×24、カップヌードル57g×40、オレオ×144、他35点 (写真⑫)、**㈱フレスタ舟入店**：ブルーベリー黒酢×12、リアルゴールドY×8、松坂鶏焼肉のタレ400g×5、S字フック×21、他10点、**㈱フレスタ吉島店**：うまい棒×4、フルーツの森×1、ドライソーセージ6.5g×6、チーズおやつ×4、他9点、**広島刑務所**：ドライカレー×249、おにぎり×299、海老ピラフ×249、わかめご飯×257、**㈱ハローズ海田市駅前店**：Ca+鉄1ℓ×1、アップルティー1ℓ×4、キャノーラ油200g×3、柿の種9g×1、**弓場美代**：丸餅10個入り×5、半月餅6個入り×2、半月黒豆餅6個入り×2、**匿名**：抗原キット・インフルエンザウイルスキット×3、**匿名**：タオル×4、**宮地貢**：みかん×15kg、**男女共同参画プロジェクト**：生理用ナプキン詰め合わせ40袋、**平口さとみ**：純米吟醸酒粕1kg、丹波黒豆



廿日市地区更生保護女性会様よりの衣料品



浄土真宗本願寺派圓妙寺様よりの果物



佐藤文倫様よりのデコレーション和菓子



西区保護司会様よりの食料・衣料品

～「愛のたより」募金贈呈式より～

「愛のたより」は、ウィズ広島運営の大切な資金となっています。心から感謝申し上げます。



広島市地区更生保護女性会連絡協議会平口さとみ様より
ウィズ広島理事長山田勘一へ贈られる

昨年のクリスマスにて



ウィズ広島賛助会 news

2024年1月1日現在の会員は154会員、うち個人会員は78会員、企業・法人会員28会員、保護司会・更生保護女性会48会員です。8月1日から12月31日までに会費をお預かりした方々は、下記のとおりです。

ウィズ広島賛助会会長 迫谷 浩司

【企業会員】錦建設株式会社

【保護司会】府中地区保護司会、南地区保護司会

【個人会員】(故)迫谷富三、迫谷浩司、反田哲顕、倉本和宜、木村美代子、田中裕紀子、野村コズエ、新畑宗子、佐川友佳子、森実博美

【更生保護女性会】三原地区更生保護女性会、大竹地区更生保護女性会

役員異動 (退任)

令和5年9月29日柳原芳樹監事が、任期満了にて退任をされました。さかのぼること平成6年6月12日に評議員として就任され、ウィズ広島の運営に尽力をいただきました。今後は当法人の相談役として、ご指導いただきます。

同じく、坂吉英利監事も任期満了にて退任をされました。これまでのお力添えに、心から感謝いたします。

また、後任の監事として、山本隆照評議員、ならびに曾川恵二評議員が同職を退任の上、同5年10月27日付けで、監事職に就任をされました。

これからどうぞよろしくお願いたします。

■ウィズ広島役員等

【理事】山田勘一(理事長)、山田一夫(副理事長)、畠山昭雄(常務理事)、嘉屋 進(常務理事)、織建末子、中島和雄、和泉 眞、林 千秋、高木一之、粟屋充博、平口さとみ、藤島秀孝

【監事】山本隆照、曾川恵二

【評議員】木本正志、井町重遠、繁政秀子、楠本次子、大野宣江、西田志都枝、

内海幸一、石森雄一郎、岸本三悦子、加用雅愛、宇恵一枝、金剛丸雅子、加川順一、反田哲顕

【顧問】浅尾宰正

【参与】永田雅紀

【相談役】柳原芳樹

■ウィズ広島職員

【施設長】稲垣 宏

【次長(補導主任併任)】中元孝彦

【補導員】沖村和夫、神田修悦、三笠公明
【福祉専門員】岡本進佑、川岡 心、浅枝 恵
【薬物専門員】高杉敬一、田坂典子
【訪問支援員】脇本正晃、古川真里奈
【事務長】竹岡靖宏
【事務員】梅本和恵、豊島幸子
【非常勤フォローアップ支援員】白倉弘子
【調理員】吉和真奈美
【非常勤調理主任】吉和栄枝
【同調理員】田中惣子、江藤民子

■ウィズ広島賛助会役員

【会長】迫谷浩司 【副会長】反田哲顕 【理事】林 千秋、先小山英夫、宇恵一枝、深堀 勝、曾川恵二

【監事】堀江洋治、山本隆照

以 上